# 第４講　平安時代の文化②

## 1　国風〔藤原〕文化

### ①国風文化の特色

A　平安京の皇族・摂関家を中心とする高度な貴族文化

B　**中国（唐・宋）文化を十分に吸収・消化したわが国独自の文化**

☆日本の風土・人情・嗜好（しこう）に合った，柔和（にゅうわ）で優美な文化。

C　**かな文字の発達を前提に国文学が発展**

D　政治の腐敗（ふはい）や社会不安の高まりの中で，**神仏習合（しんぶつしゅうごう）・末法思想（まっぽうしそう）・浄土信仰（じょうどしんこう）（浄土教・阿弥陀信仰）が流行**し，芸術に多大な影響を与える。

---

〈***Note***〉

## ②末法思想と浄土信仰

A　天台宗〔台密〕・真言宗〔東密〕の隆盛

鎮護国家・現世利益のための加持祈禱が，皇族・貴族の間で流行。

B　神仏習合の進展

神は仏の仮の姿（＝権現）とする**本地垂迹説**が流行

C　**浄土信仰の隆盛**

あ　思想⇒**阿弥陀如来**の信仰

**念仏「南無阿弥陀仏」を唱え，来世において極楽浄土に往生することを願う。**

い　背景

**社会不安の増大**（盗賊・火災・疫病・戦乱など），**寺院の世俗化**（荘園の集積など），**末法思想の流行。**

☆**末法思想**＝釈迦入滅後，1000年ずつの正法・像法を経て**1052〔永承７〕年から末法に突入**すると考えられた。

D　布教

あ　**空也**〔**市聖**・阿弥陀聖〕（10世紀半ば）

諸国を巡歴したのち，**京で一般民衆に布教。**西光寺（のちの**六波羅蜜寺**）を創建。

い　**源信〔恵心僧都〕**　（10世紀後半）

985年に**『往生要集』**を著す。上流貴族への浄土教普及を促し，持ち込まれた宋でも高い評価を得た。

う　**往生伝**（念仏の功徳で往生した人々の伝記集）の執筆

**『日本往生極楽記』（慶滋保胤）**，『拾遺往生伝』（三善為康）など

え　**経塚**の流行

経典を書写し，**経筒**におさめ地中に埋める。藤原道長が法華経を埋納した金峰山経塚などが有名。

〈*Note*〉

## ③浄土信仰を反映した美術など

A　建築

あ　**醍醐寺（だいごじ）五重塔**

い　法成寺（ほうじょうじ）〔無量寿院〕阿弥陀堂

☆藤原道長〔御堂（みどう）関白〕が建立（こんりゅう），焼失により現存せず。

う　**平等院鳳凰堂**

☆**藤原頼通〔宇治関白〕が建立**（1053年完成），浄土庭園も有名。

え　**法界寺（ほうかいじ）阿弥陀堂**

☆日野資業（すけなり）が建立。

お　**浄瑠璃寺九体（じょうるりじくたい）阿弥陀堂**

☆院政期の説もあり。

B　彫刻⇒**仏所（ぶっしょ）**において，**寄木造（よせぎづくり）**の阿弥陀像を大量生産

あ　**平等院鳳凰堂阿弥陀如来像**

☆京都七条仏所の**定朝（じょうちょう）**が制作，周囲に多数の雲中供養菩薩（うんちゅうくようぼさつ）像を従える。

い　**法界寺阿弥陀如来像**

う　**浄瑠璃寺九体阿弥陀仏**

☆院政期の説もあり。

C　絵画⇒**来迎図（らいごうず）**の制作が流行

あ　**高野山聖衆（しょうじゅ）来迎図**（紀伊国）

い　平等院鳳凰堂扉絵（とびらえ）

う　青蓮院（しょうれんいん）不動明王像〔青不動〕

---

〈 ***Note*** 〉

## ④国風美術

A　建築⇒皇族・貴族の邸宅として，白木造・檜皮葺の**寝殿造**が発達

**寝殿**・対屋・渡殿・釣殿・遣水・池・中島などからなる。

☆室内は屛風・襖などで簡単に仕切られ，床は板敷きで円座や畳を敷いて座った。

☆摂関家の邸宅である東三条殿などが有名だが，現存する寝殿造はない。

B　絵画

従来の唐絵に代わり，日本の風景や民俗を主題とする**大和絵**が発達。弘仁・貞観文化期の百済河成に続き，**巨勢金岡**らが活躍した。

C　書道

従来の唐様に代わり，**和様**〔上代様〕が発達。**小野道風**（『秋萩帖』『屛風土代』）・**藤原佐理**（『離洛帖』）・**藤原行成**（**世尊寺流の祖**，『白氏詩巻』『蓬萊切』）の３名手を**三蹟**〔三跡〕という。

D　工芸

**蒔絵**（＝漆器に金銀粉を蒔きつけて模様としたもの）や螺鈿（＝貝殻の真珠光部分を薄片にして埋め込んだもの）などの技法が発達。

☆輸出品としても珍重された。

---

〈 ***Note*** 〉

## ⑤国文学の発達

A　かな文字の発達

**日本人特有の内面的感情・感覚の表現が可能となり，国文学の隆盛をもたらす。**

☆10世紀ごろ，五十音図やいろは歌が成立したとされる。

B　詩歌⇒和歌が漢詩と並ぶ地位を確立

あ　六歌仙(ろっかせん)　（９世紀後半の和歌６名手）

僧正遍昭(そうじょうへんじょう)，在原業平(ありわらのなりひら)，小野小町(おののこまち)，僧喜撰(そうきせん)，文屋康秀(ふんやのやすひで)，大友黒主(おおとものくろぬし)

い　**古今(こきん)和歌集**（**905年，醍醐天皇**）

万葉集以降～当代(とうだい)の約1100首を20巻に収める**初の勅撰和歌集**で，**八代集(はちだいしゅう)のはじめ**。繊細(せんさい)・優美で技巧的(ぎこうてき)な**古今調**〔たをやめぶり〕。**紀貫之(きのつらゆき)**・紀友則(きのとものり)・凡河内躬恒(おおしこうちのみつね)・壬生忠岑(みぶのただみね)が編纂。紀貫之の**仮名序(かなじょ)**はわが国最古の歌論。

☆三代集⇒古今和歌集・後撰(ごせん)和歌集・拾遺(しゅうい)和歌集

☆**八代集(はちだいしゅう)**⇒古今・後撰・拾遺・後拾遺(ごしゅうい)・金葉(きんよう)・詞花(しか)・千載(せんざい)・新古今

う　**和漢朗詠(ろうえい)集**

**藤原公任(きんとう)**が編纂した，朗詠に適した和漢の詩歌集。

え　**本朝文粋(ほんちょうもんずい)**

『明衡往来(めいごうおうらい)』(最古の往来物)の著者でもある**藤原明衡(あきひら)**が編纂した漢詩集。

C　物語

あ　９世紀末～10世紀前半

**竹取物語**　**（伝奇物語）**⇒かぐや姫を主人公とする**最古の物語**

**伊勢物語**　**（歌物語）**　⇒在原業平を主人公とする**最古の歌物語**

い　10世紀後半

宇津保(うつほ)物語（伝奇物語）⇒竹取～源氏物語への過渡(かと)的な存在

落窪(おちくぼ)物語　（伝奇物語）⇒継子(ままこ)物語の先駆

大和物語　（歌物語）

平中(へいちゅう)物語　（歌物語）　⇒平貞文(たいらのさだぶみ)を主人公とする

う　11世紀初め

**源氏物語（紫式部**，全54帖(じょう)）

☆前編は**光源氏(ひかるげんじ)**，後編の宇治十帖(うじじゅうじょう)はその子薫大将(かおるたいしょう)を主人公とする，物語文学の最高峰。**国際的評価も極めて高い。**

え　11世紀半ば

堤(つつみ)中納言物語

〈***Note***〉

D　日記文学

あ　10世紀

**土佐日記**　（**紀貫之**）

☆女性に仮託(かたく)して書かれた，**最古のかな日記**。

**蜻蛉(かげろう)日記**　（**藤原道綱の母**）

☆一夫多妻制の貴族社会における女性の苦悩を描く，**最古の女流日記**。

い　11世紀前半

和泉(いずみ)式部日記　（和泉式部）

**紫式部日記**　（**紫式部**）

☆**紫式部は，一条天皇の中宮彰子(しょうし)**〔上東門院(じょうとうもんいん)〕**に仕えた。**

う　11世紀半ば

**更級(さらしな)日記**　（**菅原孝標の女(すがわらのたかすえのむすめ)**）

E　随筆(ずいひつ)

**枕草子(まくらのそうし)**　（**清少納言(せいしょうなごん)**）⇒最古の随筆

☆**清少納言は，一条天皇の中宮（のち皇后）定子(ていし)に仕えた。**

F　百科事典

**倭名類聚抄(わみょうるいじゅうしょう)〔倭名抄(わみょうしょう)〕（源順(みなもとのしたごう)）**⇒最古の百科事典

〈***Note***〉

## ⑥貴族の生活

### A　社会生活

あ　成人式

10 ～ 15歳くらいで男子は**元服**，女子は**裳着**の式をあげて，成人として扱われた。その後，男子は官職を得て宮廷に出仕した。

い　**年中行事**の発達

政治は先例に従って行われるようになり，先例や儀式に精通することが貴族の教養とされたので，日記や儀式書がさかんに著された。

☆上流貴族の日記⇒**御堂関白記（藤原道長）**，**小右記（藤原実資）**など
☆儀式書　　　　⇒西宮記（源高明），江家次第（大江匡房）など

う　おもな年中行事

睦月　（１月）⇒朝賀，**叙位**，**県召除目**など
弥生　（３月）⇒曲水宴
卯月　（４月）⇒灌仏会，**賀茂祭〔葵祭〕**など
水無月（６月）⇒大祓〔水無月祓〕など
文月　（７月）⇒七夕，盂蘭盆会，相撲節など
葉月　（８月）⇒司召除目など
師走　（12月）⇒追儺，大祓〔年越祓〕など

え　生活範囲

石山寺（近江国）や長谷寺（大和国）などに参詣する他は，ほとんど京を離れることなく一生を終えた。

〈 ***Note*** 〉

B　日常生活

あ　衣

**貴族の正装⇒男性は束帯・衣冠，女性は女房装束〔十二単〕。**

貴族の常装⇒男性は**直衣・狩衣**，女性は小袿に袴を着用。

庶民・武士⇒**直垂・水干・小袖**など。

い　食

強飯と乾物を中心に，**朝夕の２食**。荘園からの徴収品などで，貴族の食事は多種多様になった。庶民の食事は比較的簡素で，1日３回とることもあった。

う　住

**皇族・貴族の多くは左京の寝殿造の屋敷に居住。**

☆京の民衆は掘立柱の家屋，地方には竪穴住居にも住む者もいた。

え　婚姻

結婚した男性が妻の家に入る**招婿婚**〔**婿入婚**・妻問婚〕が一般化。

**母方の縁（＝外戚関係）が重視されるが，女性の地位は不安定であった。**

お　娯楽

碁・双六や歌合・貝合・闘鶏，**蹴鞠**，放鷹など多数の娯楽が存在した。

C　精神生活

あ　**陰陽五行説**に基づく**陰陽道**の影響で，**迷信**が流行。生活は**具注暦**に縛られ，**物忌**と称して引き籠ったり，**方違**を行ったりした。

い　現世で栄達富貴が得られない場合の失望や現実逃避により，**浄土信仰が流行**。

〈*Note*〉

# ２　院政期の文化〔平安末期の文化〕

## ①院政期の文化の特色

A　**武士・庶民による地方文化を導入**した，わが国独自の貴族文化。

B　民間芸能が流行するなど，**文化の庶民性が高まる**。

C　寺院に所属しない僧である**聖**(ひじり)**・上人**(しょうにん)**による浄土信仰の布教**と，それを受け入れる**地方武士の台頭**により，**中央の浄土信仰文化が地方に波及**(はきゅう)した。

---

## ②宗教

院政を行う３上皇〔法皇〕により，寺院（**六勝寺**）の造営や寺社参詣(さんけい)（**高野**(こうや)**詣**(もうで)**・熊野詣**）が流行した。

---

## ③建築

A　**中尊寺金色堂**(ちゅうそんじこんじきどう)**（陸奥国〔岩手県〕平泉**(ひらいずみ)**）**

☆1124年，**藤原清衡**(きよひら)**が建立**。

☆奥州藤原氏は２代基衡(もとひら)が毛越寺(もうつうじ)，３代秀衡(ひでひら)が無量光院(むりょうこういん)を建立。

B　**白水阿弥陀堂**(しらみず)**（陸奥国〔福島県〕）**

☆いわき市の願成寺(がんじょうじ)境内(けいだい)にある。

C　三仏寺投入堂(さんぶつじなげいれどう)（伯耆国(ほうきのくに)〔鳥取県〕）

D　**富貴寺大堂**(ふきじおおどう)　**（豊後国**(ぶんごのくに)**〔大分県〕）**

☆豊後高田市にある九州最古の建築物。

---

## ④彫刻

A　往生極楽院(おうじょうごくらくいん)阿弥陀如来像（山城国〔京都府〕）

☆京都市大原(おおはら)の三千院(さんぜんいん)本堂にある。

B　臼杵磨崖仏(うすきまがいぶつ)（豊後国〔大分県〕）

☆わが国を代表する石仏群。

---

〈***Note***〉

## ⑤絵画

A　**絵巻物**（大和絵と詞書（ことばがき）をおりまぜて時間の進行を表現）

あ　**源氏物語絵巻**（藤原隆能（たかよし）？）

☆引目鉤鼻（ひきめかぎばな）・吹抜屋台（ふきぬきやたい）が二大技法。

い　**伴大納言絵巻**（ばんだいなごんえまき）（常磐光長（ときわのみつなが）？）

☆**応天門の変**で伊豆国に配流された，大納言**伴善男**（とものよしお）を描く。

う　**信貴山縁起絵巻**（しぎさんえんぎえまき）

☆奈良県の朝護孫子寺（ちょうごそんしじ）に伝わる，命蓮（みょうれん）という僧の霊験談（れいげんだん）。

え　**鳥獣戯画**（ちょうじゅうぎが）　**（鳥羽僧正覚猷（とばそうじょうかくゆう））**

☆京都府の**高山寺**（こうざんじ）が所蔵する，詞書のない軽妙で風刺的な絵巻物。動物を擬人化し，躍動的に描く。

お　年中行事絵巻

☆後白河上皇の命で描かれたもの。

B　**装飾経**（そうしょくきょう）（大和絵＋法華経などの写経）

あ　**扇面古写経**（せんめんこしゃきょう）

☆大阪府の四天王寺と東京国立博物館に分蔵。下絵からは庶民の生活がしのばれる。

い　**平家納経**（へいけのうきょう）

☆平清盛が平家一門の氏神とした**厳島神社**（いつくしまじんじゃ）**（安芸国（あきのくに））**に奉納。

〈 ***Note*** 〉

## ⑥文芸

A　説話集

今昔物語集（源隆国？）

☆天竺・震旦・日本〔インド・中国・日本〕の仏教説話や世俗説話1000余りを，和漢混淆文で記す。

B　軍記物語

あ　将門記

☆平将門の乱（939年〜）を漢文で記した，最古の軍記物語。

い　陸奥話記

☆前九年合戦（1051年〜）を，日本的漢文体で記す。

C　歴史物語

あ　栄花〔華〕物語（赤染衛門ら）⇒国風文化期

☆藤原氏全盛期を賞賛的に，編年体で描く。

い　大鏡〔世継物語〕

☆藤原氏全盛期を批判的に，紀伝体で描く。

☆四鏡（大鏡・今鏡・水鏡・増鏡）のはじめ

う　今鏡

☆おもに院政期を描く。

D　仏教史書

扶桑略記（皇円）

☆司馬達等（鞍作鳥の祖父）らによる仏教私伝についての記述で有名。

E　歴史書

本朝世紀（藤原通憲〔信西〕）

☆鳥羽上皇の命により六国史を継ぐ目的で編纂されたが，未定稿に終わる。

〈 ***Note*** 〉

## ⑦芸能

A　**今様**（民間の流行歌謡）

☆男装の女性が今様を歌いながら舞う，**白拍子**も流行。

☆**後白河上皇**が『**梁塵秘抄**』を編纂。

B　**催馬楽**

☆雅楽の声楽の一種，日本古来の民謡や和歌を唐楽風に編曲。平安初期に成立した古代歌謡から発達。

C　**朗詠**

☆雅楽の声楽の一種，和漢の名句を楽器の伴奏に合わせ吟じた。

D　**田楽**（民間の農作業にともなう労働歌舞）

☆しだいに芸能化し，貴族の間で流行（1096年，永長の大田楽）。

E　**猿楽**（滑稽を主とした雑芸や歌曲）

☆奈良時代に伝来した散楽から発展したとされる。

☆京の猿楽興行の様子などを記した往来物に『新猿楽記』（藤原明衡）がある。

---

〈 ***Note*** 〉

# 第４講　文化史確認テスト

1　浄土信仰において，最も信仰の対象となった仏とは？

①大日如来　②阿弥陀如来　③弥勒菩薩　④観音菩薩

2　正法・像法を経て末法に突入すると考えられていた年とは？

①1000年　②1019年　③1028年　④1052年

3　天台宗の源信〔恵心僧都〕が著し，宋でも高い評価を得た書物とは？

①往生要集　②日本往生極楽記　③拾遺往生伝　④愚管抄

4　平安京の左京に多く見られる，皇族・貴族の邸宅に用いられた白木造・檜皮葺の建築様式とは？

①校倉造　②寝殿造　③書院造　④数寄屋造

5　905年，初の勅撰和歌集である古今和歌集の編纂を命じた天皇とは？

①嵯峨天皇　②清和天皇　③宇多天皇　④醍醐天皇

6　在原業平をおもな主人公とする，最古の歌物語とは？

①日本霊異記　②伊勢物語　③宇津保物語　④落窪物語

7　紫式部や和泉式部が仕えた一条天皇の中宮とは？

①宮子　②定子　③彰子　④威子

8　貴族の男性の正装を一つ選べ。

①束帯　②衣冠　③直衣　④狩衣

9　岩手県平泉に中尊寺金色堂を建立した，奥州藤原氏の初代とは？

①清衡　②基衡　③秀衡　④泰衡

10　大分県豊後高田に現存する，九州最古の木造建築物とは？

①浄瑠璃寺九体阿弥陀堂　②白水阿弥陀堂
③三仏寺投入堂　④富貴寺大堂

11　わが国最古の軍記物語とは？

①将門記　②陸奥話記　③平家物語　④太平記

12『梁塵秘抄』に今様を分類・編纂した人物とは？

①白河上皇　②鳥羽上皇　③後白河上皇　④平清盛

解答

1 ②　2 ④　3 ①　4 ②　5 ④
6 ②　7 ③　8 ①　9 ①　10 ④
11 ①　12 ③